

関係先各位

## 第三回織田作まつり 開催のご案内



落語が好き、講談が好き、映画が好き、文学が好き、  
そんな欲張りなオダサクファンに贈る

織田作之助生誕103年

昭和91年の今年、生國魂神社に蘇る織田作之助～寄席と記念鼎談でお祝いしましょ

2013年の織田作之助生誕百年には多くの関連イベントが開催され、生國魂神社境内にも織田作之助の銅像が建立されました。続いて一昨年10月26日の誕生日に第一回織田作まつりを生國魂神社で開催いたしました。織田作之助原作の新作落語会のあと、肥田皓三先生の熱のこもった講演も深く印象に残っています。昨年の第二回織田作まつりは、10月18日、前年とは趣向を変え、織田作之助作品に登場する古典落語を中心の高座とし、講演は恩田雅和氏に「織田作之助と上方落語」について語っていただきました。

さて、今年の第三回織田作まつりは103回目の誕生日を前にした10月22日となりました。

天満天神繁昌亭支配人の恩田雅和氏には昨年も落語会の構成について、企画段階から助言を頂戴しましたが、今年はオダサク倶楽部の顧問として、織田作まつりの企画に取り組んでいただきました。

今回の織田作まつりの大きな特長は

- ・織田作之助脚本とされる映画『あのひと』と執筆された昭和19年という時代に焦点を当てた。
- ・初めて講談が登場する。

したがって、落語と文学に、映画と講談も加わり、オダサク・ワールドを立体的にとらえるまたとない贅沢な機会と言えます。

さて、映画『あのひと』は、第二次世界大戦末期の1944年に書かれた映画脚本で、大阪府立中之島図書館の「織田文庫」に収められています。織田文庫は1977年に遺族が作之助の蔵書などを寄贈したものです。

- ・「『昭和19年に、撮影所で映画を作ることになって集まった人々が、戦争が続いている70年後の日本を想像して作った映画』という設定を思いつきました。」
- ・「戦死した上官の部下たち4人の男が、上官の遺児を育てる。同じ狭い街に住む年頃の女たちは、男たちより闊達にいきている。そんなほのぼのとした設定なのに、なぜか怖い。検閲をさけるためか政治のことはつかっておらず、それゆえ、時代的であるより通時的で生々しい。この怖さのみなもとは何なのか。」
- ・「自分でしゃべっているようでありながら、誰かにしゃべらされているよう。(中略) 当人たちは自由に選んでいるつもりがあやつられているよう。」(映画パンフレットより)

昨年11月、東ヨーロッパ・中央アジア最大の映画祭「ミンスク国際映画祭」で2つの特別賞を受賞しました。

織田作之助の『猿飛佐助』は昭和20年はじめ、雑誌の小説やラジオドラマとして発表されました。『あのひと』の書かれた昭和19年と同じ時期。今回は講談版の「猿飛佐助」を読んでいただきます。

「胴切り」は『あのひと』に登場する田畑智子さん演じる松井トラが据えるお灸にちなんでトリネタとして選びました。

演者は、初登場講談の旭堂南海さん、初回から連続出演の月亭文都さん。そして開口一番は、文都一門の一番弟子の天使さんです。

「織田作まつり」が、初回、第2回、第3回と、今年も開催できることは何よりの喜びでございます。これもひとえに多くの方々のご協力をいただいているおかげです。今後も、毎年10月、織田作之助の誕生日の前後に開催してまいりたいと願っております。織田作之助というまたとないコンテンツを享受し、上方文化・芸能の発展に貢献できるよう、皆様のさらなるご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

オダサク倶楽部 代表 井村身恒

## 記

1. イベント名称 第三回 織田作まつり
2. 日時 10月22日(土)
3. 会場 いくたま  
生國魂神社境内
  - (1) オープニング・セレモニー 北門西側 織田作之助銅像前 [公開プログラム]
  - (2) オダサクマーケット 社務所1階 [公開プログラム]
  - (3) オダサク寄席・記念講演会 社務所2階・和室 [有料プログラム]生國魂神社へは、近鉄「大坂上本町」駅 西へ徒歩5分  
地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅3番出口より徒歩3分
4. イベント内容
  - (1) 公開プログラム(無料)
    - 午後1時より オープニング・セレモニー  
ー昨年、織田作之助生誕百年を記念して建立された織田作之助銅像前にて、103回目の誕生日を祝い、大阪の文化・上方芸能の発展を祈念する神事を行ないます。
    - 午後1時30分より オダサクマーケット オープン  
織田作之助に関連する食品(レトルト)や書籍などを販売します。
  - (2) 有料プログラム(定員70名 予定)
    - 午後2時~ オダサク寄席・記念講演会  
あいさつ オダサク倶楽部 代表 井村 身恒  
第1部 記念鼎談「織田作之助脚本とされる映画『あのひと』をめぐって」  
山本一郎 映画『あのひと』監督  
大野裕之 映画『あのひと』俳優(照井役)/配給・宣伝プロデューサー)  
井村身恒 オダサク倶楽部代表(司会)
    - 第2部 オダサク寄席(織田作之助作品ゆかりの演目)

月亭天使	「開口一番」
旭堂南海	「講談 猿飛佐助」
月亭文都	「胴切り」

(午後 5時00分までに 撤収完了)
5. 有料プログラム 入場料
  - (1) 一般入場料 第1部・第2部通し ・前売り @2,000円 ・当日 @2,500円
  - (2) 協力券 @5,000円 (第1部・第2部通し券×2枚+出演者のサイン(色紙)付)
  - (3) 団体協力券 @10,000円 (第1部・第2部通し券 ×5枚付)
6. 主催 オダサク倶楽部
7. 共催・協力 隆祥館書店
8. 後援 生國魂神社
9. 企画 恩田雅和(天満天神繁昌亭支配人・オダサク倶楽部顧問)
10. お問い合わせ先 オダサク倶楽部 代表 井村身恒 TEL&FAX 072-236-6465  
[https://www.facebook.com/OdaSakunosuke?ref\\_type=bookmark](https://www.facebook.com/OdaSakunosuke?ref_type=bookmark)  
生國魂神社 TEL 06-6771-0002

以上